

ワカメからのご挨拶

無事設置終わりました！

夢ワカメ・ワークショップ参加者の皆様

11月27日の無事、いかだとワカメの設置を終わりました！

皆さんのワカメの生長を12月11日、25日、1月8日、9日に点検を行う予定です。成長の状況はその都度、ご報告します。

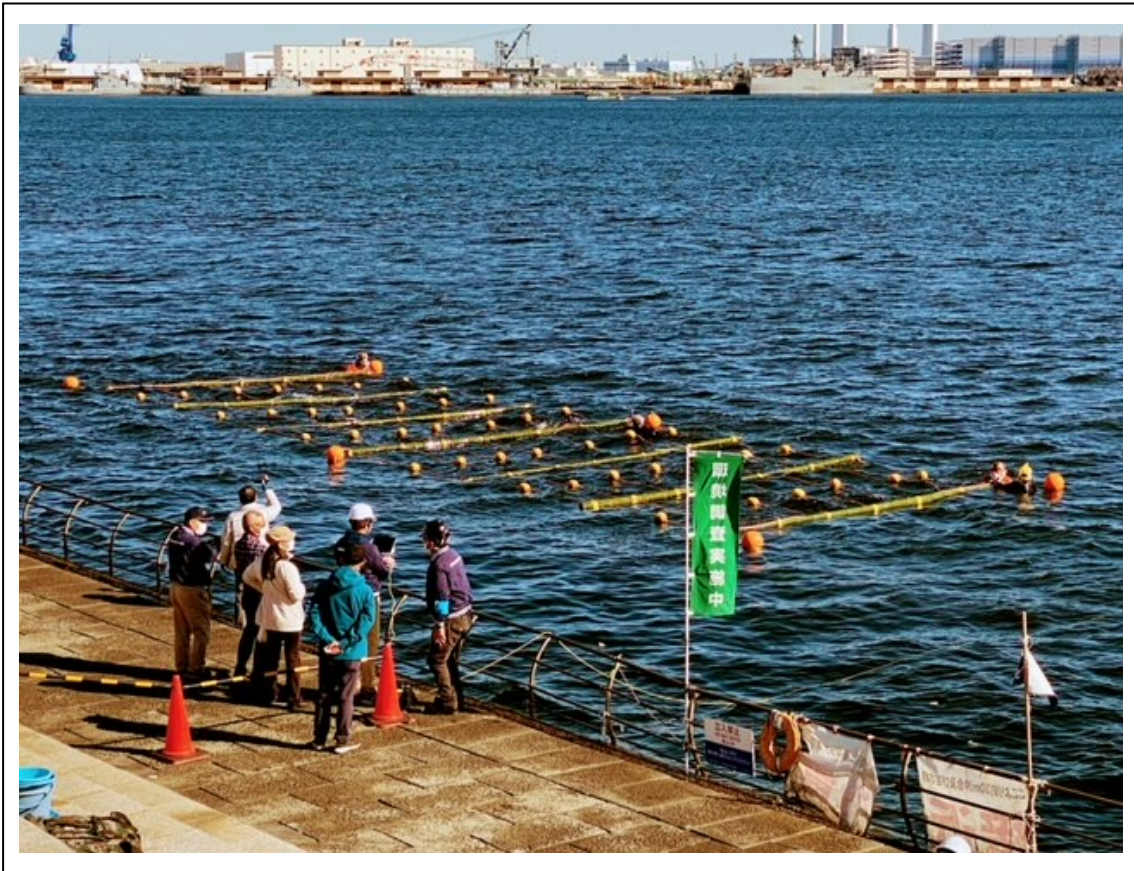
近年の地球温暖化で、水温が高い日が続き成長阻害が起きたり、他所では食害も報告されるなど心配は尽きません。

今年も、岩手県釜石市の種と、神奈川県横須賀市の種をお分け頂きました。釜石は、収穫時期がこちらよりは遅いので、本来、まだ種が成長はじめておらず、小さいのですが、横浜用に成長の早いものをわざわざ作って下さいました。横須賀でも、水温の影響で、種系がうまくできなかった漁師さんも多数できているのですが、それでも良い種系を作った漁師さんが、融通してくれました。漁師さんには、本当に感謝しかないです。

もちろん自然のことですので、うまく成長できない場合も受け入れざるをえないのですが、少しでも温暖化を防止するためにも、日々の生活での工夫はますます必要になっています。それでも確実にみなさんのワカメが東京湾をきれいにしようと、またCO₂を吸収しようと頑張ってくれています。期待半分、心配半分でワカメのことや海のことを考えて、温暖化防止になるような生活を心がけてくださったら、主催者としてもうれしいかぎりです。

次回は、12月11日09:00から点検を行いますので、その際は、また報告させていただきます。それでは、健康には十分注意してお過ごしください。

11月27日設置のようす



こうやってロープで育成するワカメは、十分に光を浴びられる水深にいつもあり、海水からの栄養を十分に取り込める間隔で育っていきます。このため、養殖されるワカメは立ち上がりず、下に垂れ下がります。

一方で自然に生えるワカメは、たまたま、生育に適した環境と水深にワカメの胞子がたどり着くことにより生育が始まりますが、光を十分に浴びられるように上に伸びていきます。立ち上がることにエネルギーが必要ですから、その分ワカメも体力が必要です。そのため、立ち上がるのに適した形状と硬さになっていきます。

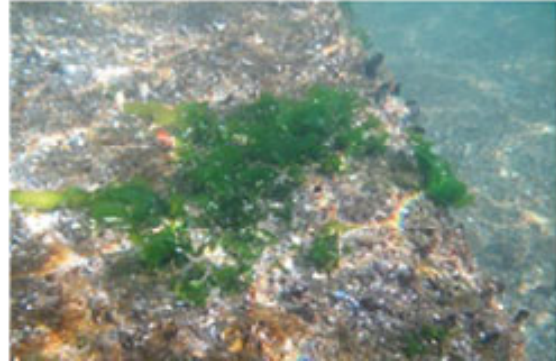
ふだん食卓に並ぶワカメを養殖している漁師さんたちは、最適に美味しいワカメが育つように、毎日の細心の注意と工夫を重ねているのです。

また、昨年あたりから、全国的に水温上昇と食害生物の増加で、ワカメの生産が思うようにいかず、ワカメの値段が高騰しているようです。ワカメが海の中でCO₂を吸収していきますので、CO₂回収に役立っているのですが、CO₂をなるべく出さないようなライフスタイルへ変わっていくことも必要ですね。横浜市では、海藻草類でCO₂を吸収固定することをブルーカーボンと呼んで推進していますが、この夢ワカメも横浜市のブルーカーボンに認定されて

います。

右の写真は横浜港内の護岸に生える海藻のようすです。多くのみなさんが緑色の海藻を見ると、ワカメと呼んだりしますが、これはアオサという海藻です。

また海藻の種類も少ないことがわかれると思います。多くの海藻が生える豊かな海にしたいですね。



夢ワカメ・ワークショップ実行委員会 拝

*申し込み代表者の方は、恐縮ですが、お仲間の方に転送していただけるとありがたいです。